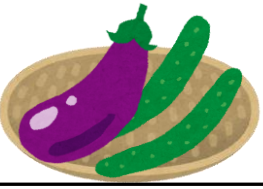


まふとち通信

(まふ (MAFF)) は、農林水産省の英語表記「Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries」の略称です)

本誌のご案内



- 水田政策の見直しに関する地方説明会を宇都宮市で開催しました
- スマート農業で、生産性アップと持続可能な農業へ
- 統計情報 栃木県アスパラガス産地の現状と競争力
～ 収穫量全国4位 東京都中央卸売市場6年連続トップの実績～
- 地域の取組を募集します
「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」 「ノウフク・アワード」 募集中
- 情報コーナー

水田政策の見直しに関する地方説明会を宇都宮市で開催しました

水田政策については、令和7年4月に閣議決定された「食料・農業・農村基本計画」に基づき、令和9年度から根本的に見直すこととされ、今般「令和9年度からの水田政策の見直し」が取りまとめられました。

農林水産省では、この内容について、全国各地の農業者・団体等の皆様に説明するとともに、幅広く御意見を伺うため、令和8年6月から7月にかけて、全国8ブロックで説明会を開催しました。

関東ブロックでは、7月6日、宇都宮市の栃木県総合文化センターで説明会を開催し、会場参加者とオンライン参加者の合わせて約700人の方々に御参加いただきました。

説明会では、新たな水田政策の基本的考え方・仕組みについて説明を行ったほか、農業者、関係団体及び自治体関係者との意見交換を実施しました。

参加者からは、支援単価の早期提示や、事務手続の簡素化などについて、多くのご意見・ご要望が寄せられました。

山下副大臣からは、いただいた御意見を十分に参考にさせて頂きながら、新たな水田政策の詳細な制度設計の検討を深めていく旨が述べられました。



説明会会場の様子と山下副大臣(丸内)



生産者から説明を受ける山下副大臣

説明会終了後には、山下農林水産副大臣が宇都宮市内で、飼料用米の生産や耕畜連携に取り組む現場を視察しました。

現地での意見交換において、地域資源を活用した循環型農業の取組状況や課題等について、生産現場の意見を伺いました。

令和6年に「農業の生産性の向上のためのスマート農業技術の活用の促進に関する法律（スマート農業技術活用促進法）」が施行されました。
この法律では、以下の2つの認定制度が設けられました。

- ①スマート農業技術の活用及びこれと併せて行う農産物の新たな生産の方式の導入に関する計画
（生産方式革新実施計画）
申請者：農業者又はその組織する団体
- ②スマート農業技術等の開発及びその成果の普及に関する計画（開発供給実施計画）
申請者：スマート農業技術の開発・供給を行う事業者（農機メーカーなど）



「生産方式革新実施計画」の認定を受けると・・・

- 補助事業における優遇措置が受けられます。
 - ・予算の各種事業(機械導入の支援等)において、優先採択やポイント加算等の優遇措置
- 日本政策金融公庫から長期低利の融資を受けられます。
 - ・償還期限を25年以内とする等、大規模投資にも対応
 - ・据置期間を5年以内とし、事業者の初期償還負担を軽減
 - ・貸付金の使途に長期運転資金も設定
- 設備投資の際、税制上の優遇措置が受けられます。
 - ・機械等の取得等をした場合に、特別償却を適用
 - ・特別償却により、導入当初の税負担を軽減



栃木県の計画認定状況

品目	計画の概要（収益性向上の取組）	認定者	住所
そば	①播種作業への農業用ドローンの利用 ②ドライブハローを利用した覆土による発芽率の向上	アーデルファーム株式会社	那須塩原市
水稻	①播種、防除、施肥作業への農業用ドローンの利用 ②直播の効果を高める栽培体系の導入	株式会社BASE09	宇都宮市
水稻	①耕起、播種、収穫等の作業効率を向上する自動操舵トラクター等の導入 ②直進等の精度を高めるほ場の均平化で収益性アップ	阿部 剛志	芳賀町
麦	①労働生産性を向上する自動操舵トラクターの導入 ②その効果を高める大区画化	(株) TanakaFarm誠	栃木市
水稻	①耕起、播種等の作業効率を向上する自動操舵装置のトラクターへの装着 及び自動操舵機能付き水稻直播機の導入 ②直進等の作業精度を高めるほ場の均平化	合同会社なかの農園	真岡市
水稻	①耕起・代掻き、播種等の作業効率を向上する自動操舵トラクター等の導入 ②直進等の作業精度を高めるほ場の均平化	齊藤 利治	宇都宮市
水稻	①収穫作業の効率を向上する自動操舵機能搭載の食味・収量計測機能付きコンバインの導入 ②直進等の作業精度を高めるほ場の均平化・大区画化及び食味・収量データを他の生産者と共有・分析し適正施肥の実施	農事組合法人農音	芳賀町

詳しくはこちらをご覧ください。

スマート農業技術活用促進法について
<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/smart/houritsu.html>



統計情報 栃木県アスパラガス産地の現状と競争力 ～ 収穫量全国4位 東京都中央卸売市場6年連続トップの実績～

○令和6年における栃木県のアスパラガスの作付面積は、前年10位から第8位へ上昇。
収穫量は、令和6年も第4位。微増ながらも、栃木県のみ増加傾向。
○東京都中央卸売市場での年間取扱数量は、6年連続トップ。シェアも増大傾向。

図1 アスパラガスの作付面積の推移

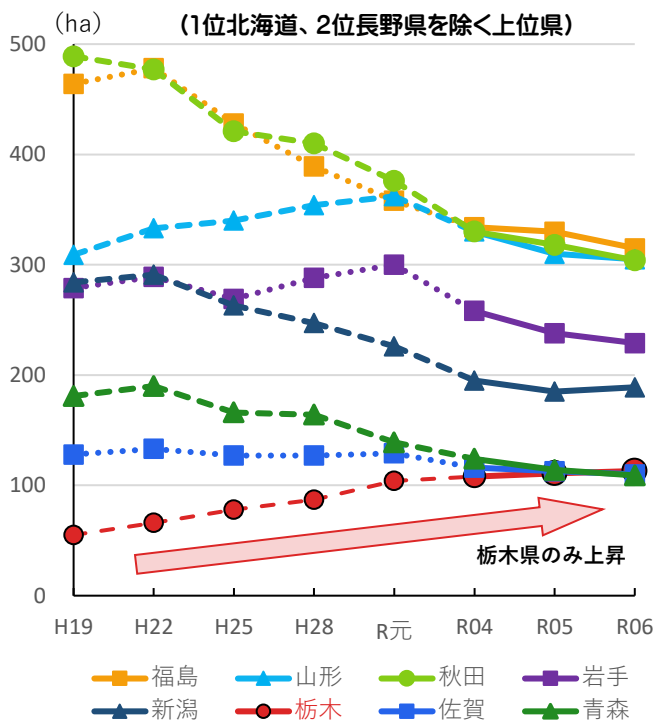


図2 アスパラガスの収穫量の推移

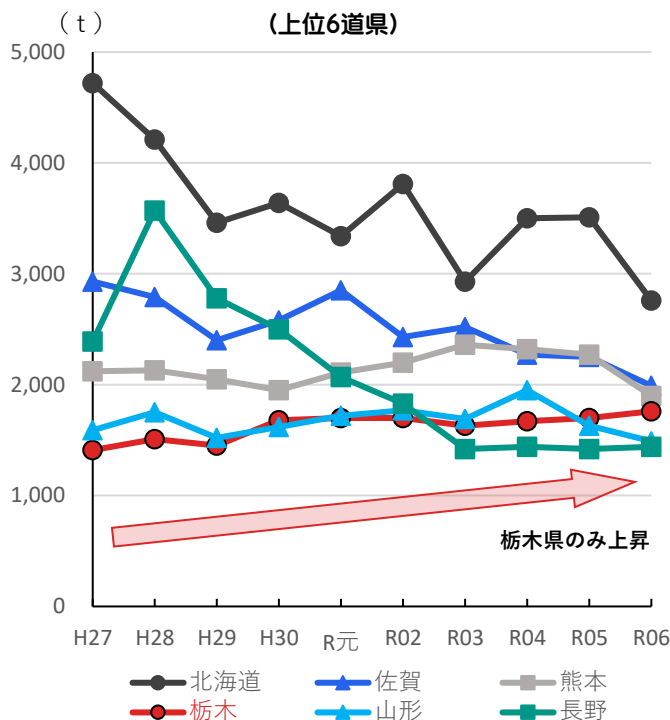


図3 アスパラガス取扱数量の推移 (東京都中央卸売市場)

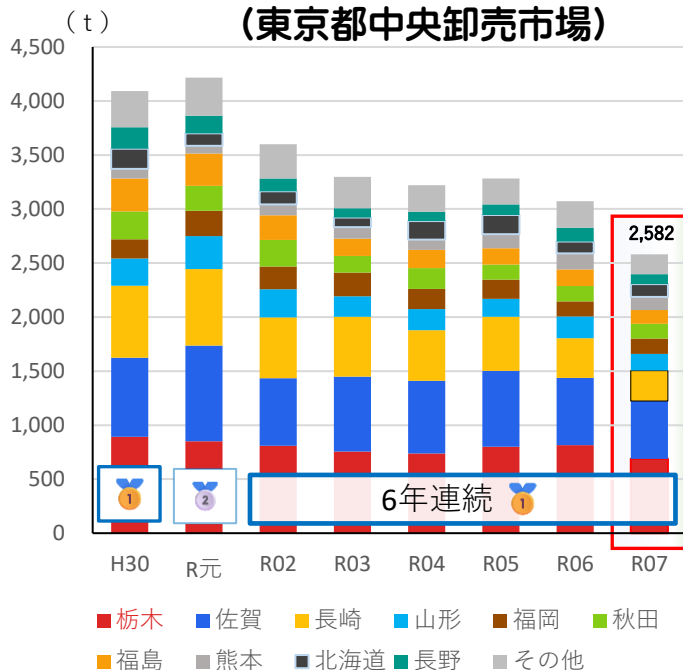
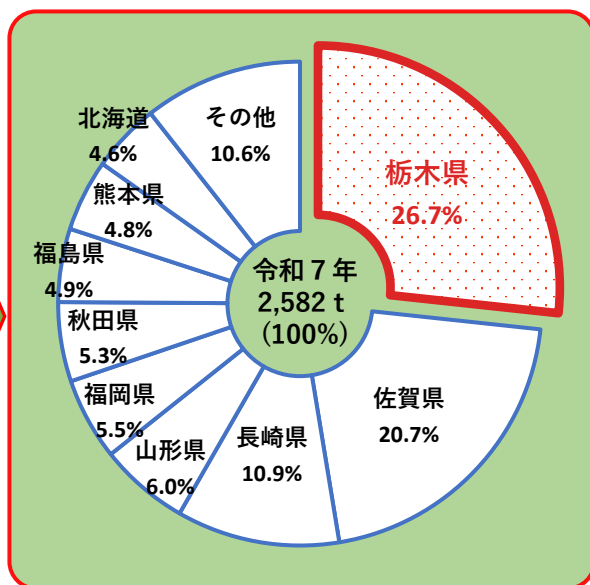


図4 アスパラガス取扱数量のシェア (東京都中央卸売市場)



資料：農林水産省「作物統計調査（野菜生産出荷統計）」
東京都中央卸売市場「市場統計情報（月報・年報）（国内）」

※詳細は、以下のURL又は二次元コードからご覧ください。

農林水産省：作況調査（野菜）

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_yasai/index.html

東京都：市場統計情報（月報・年報）

<https://www.shijou.metro.tokyo.lg.jp/torihiki/geppo>



応募についての詳しい情報は各特設サイトにてご覧ください。

ディスカバー農山漁村（むら）の宝

応募締切 令和8年8月31日（月曜日）まで

(1) 募集内容

地域において、新たな需要の発掘・創造や潜在している地域資源の活用により、農林水産業および地域の活力向上につながる(ア) から (ウ) のいずれかに該当する取組を募集します。

(ア) 美しく伝統ある農山漁村を次世代へ継承する取組

(イ) 幅広い分野・地域との連携により農林水産業・農山漁村を再生する取組

(ウ) 農林水産業の生産性向上、農林水産物や食品の需要拡大・付加価値向上に資する取組

(2) 応募資格

(ア) (1)に該当する取組を行っている団体及び個人（自薦・他薦は問いません）

(イ) 団体・個人のいずれでも応募可能

(ウ) 過去に選定された団体・個人でも応募可能

ディスカバー農山漁村（むら）の宝特設サイト

<https://www.discovermuranotakara.com/sentei/>



ノウフク・アワード

応募締切 令和8年8月24日（月曜日）まで

応募対象

地域において、農林水産業で障害者等の多様な能力が発揮され、農林水産分野、福祉分野が抱える様々な課題解決や、障害者等の社会参画の実現、地域農林水産業の維持・発展、更には地域活性化にも貢献している団体等



ノウフク・アワード2026特設サイト <https://noufuku.jp/award/>

情報コーナー

(1) 【お米に関する情報】 米に関するマンスリーレポート

農林水産省は、米に関する価格動向や需給動向に関するデータを集約・整理した「米に関するマンスリーレポート」を公表しています。ぜひご活用ください。

◆詳しくは、こちらをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/mr.html>



(2) 【補助事業参加者の公募】

農林水産省が参加者を募集している補助事業等を紹介します。

◆詳しくは、こちらをご覧ください。

<http://www.maff.go.jp/j/supply/hozyo/index.html#no>



(3) 【輸出に取り組む皆様へ】 お役立ち資料集

関東農政局では、農林水産物・食品の輸出拡大に向けて、関係資料等を作成しました。

特に、これから輸出の初めの一步を踏み出す農業者及び食品製造事業者の皆様の参考となるようまとめましたので、是非、ご活用いただければと思います。

◆詳しくは、こちらをご覧ください。

https://www.maff.go.jp/kanto/keiei/zigyo/yusyutu_sokushin/kanto_gfp_export_doc.html

